

メタセの杜 移動販売

Q. 体験取材で感じたことはありますか?

A. とてもお客さんに寄り添った接客だと感じました。地域の人たちが顔を合わせる場になっており、安心して買い物に来れる場がつくられていきました。今後もお客さん同士のつながりが生まれる場所として継続してほしいです。



おまたち

A. 移動販売をお手伝いしていく中で見えてきた課題としては、商品POPや値段の見にくさがあると感じました。商品の種類が数多くあるため、品名よりも色で認識できるようなPOPを作ることで改善できるのではないかと思いました。



メグ

Q. 移動販売の魅力について教えてください!

メタセの杜
木村店長

協力隊が発見!
移動販売の
魅力

A. 高齢者の買い物への負担を軽減するのはもちろん、交流の場が閉じてしまっている今、コミュニケーションスペースとしても使ってもらえばだと思います。ちょっと買い物するついでに誰かと会って話す機会になればうれしいです。

人と人をつなぐ憩いの場づくり

移動販売がやってくることは、単なる買い物にとどまらない一面を持つていました。週に一度、買い物に来た誰かと顔を合わせる楽しみがあり、地域交流の場としても活躍しています。

なにしたの?

メタセの杜で今年5月から始まった、移動販売の業務を体験取材しました。毎週火・木・金に決まつた場所をまわり、地域の人々に食品や生活用品を届けています。



協力隊おこし 地域通信

ぜ外築協
ひ上町通話
お人から見
くだ見
ださ
は、協力隊
の上町
では、協力隊
が取材した
。協力隊が
お届け！
つてこんな
感じ。

次回の予定

柚子胡椒づくり体験
寒田こんにゃくづくり体験

このページは、協力隊・加藤詩乃がデザイン・編集しています。

なにしたの?

バンガロー、トイレ、シャワー室などの施設の管理や清掃、宿泊者管理の書類作成などの事務仕事、そのほかごみ袋や薪の準備、ごみ拾いなど、キャンプ場の業務を体験取材しました。



牧の原キャンプ場の業務体験

Q. 体験取材で感じたことはありますか?

A. 20年ほど毎年利用している保育園の先生から「ここはトイレがきれいでうれしい。トイレが汚くて暗いところは子供たちが怖がって行かなくなってしまう」という声を実際に聞きました。きれいに保つことがリピートにつながっていると感じました。



しの

A. 自由度が高く、利用者が工夫して楽しむ施設だと感じます。昨今流行しているおしゃれなグランピング施設・キャンプ場というよりは、ゆったりと過ごす空間を提供できるキャンプ場として売り出しても面白いのかなと考えました。



おまたち

Q. 牧の原キャンプ場の魅力について教えてください!

寒田自治会
あやさん

A. いつも「もしも自分が使うなら」と意識しながら、施設の掃除や貸出物の管理をしています。実際に利用者の方から「このキャンプ場はきれいだね」と言ってもらえることが多いです。キャンプ場が盛り上がりことで城井谷に人の流れをつくり、地域の居場所になっていくべきと思っています。

協力隊が発見!
牧の原
キャンプ場の
魅力

幼児も怖くないトイレが当たり前にあるということ

日々の業務に追われても、スタッフが掃除の手を抜くことはありません。スタッフのおもてなしの心によって、自然とまた利用したくなるキャンプ場づくりがされています。

地域おこし協力隊
小俣元稀 加藤詩乃 斎藤愛

Instagram



日々の活動を
発信しています